

教員の経験則の「見える化」に取り組んでいます！

令和7年度 第1回 「横浜教育データサイエンス・ラボ」(研究経過報告)の開催

横浜市では、児童生徒約26万人の教育ビッグデータの分析を行うことで、教員の経験則の「見える化」に取り組み、エビデンスに基づく子ども一人ひとりに合った支援や、学びの充実を図ることを目指しています。

この度、令和6年度の実践から分かったことを研究経過報告として発表し、今後の研究について考える令和7年度第1回「横浜教育データサイエンス・ラボ」を令和7年5月16日(金)に開催いたします。

◆ 横浜教育データサイエンス・ラボ(Data Science Lab)とは

- 若手から中堅の教職員、専門的な知見をもつ大学研究者、データの分析・加工の専門的な技術をもつ企業で形成される研究の場
- 教職員の課題感や求める効果を出発点とし、大学や企業の知見やノウハウを組み込んで研究をする
- 児童生徒約26万人の教育データを分析し、教職員や子どもたちに有効な「教育データ」を提供する

【開催テーマ】 ※開催概要(日時、場所等)は裏面を参照ください。

テーマ① 〈算数科、数学科〉 学力と意欲の関係 「つまずき」は気付きのチャンス

算数科・数学科について、企業と連携し、つまずきの原因がどこにあるのか、学習内容ごとのつながりに焦点を当て、つまずきに関するデータ分析を行ってきました。

その結果、教員のこれまでの指導経験と教育ビッグデータを掛け合わせることで、「つまずきやすい単元(学習内容)」として研究する対象が浮かび上がってきました。

今後は、それらについて、一人一台端末を用いて普段の子どもたちの学習状況のデータを分析し、どこでどのようにつまずいているのかを明らかにする研究を進めます。さらには、子どもたち一人ひとりが「つまずき」を「気付き」に変え、最大限に生かす学びのあり方を検討していきます。

テーマ② 〈横浜モデル〉 子どものこころの変化をとらえ安心な学びの環境をつくる 教育×医療×ビッグデータの連携

横浜市はリアル、オンライン、バーチャルの三層空間を活用し、子どものこころの状態に応じたケアにつなげる「横浜モデル」の構築を目指しています。

そのために、令和6年度から横浜市立大学と連携し、モデル校においてVAS※を用いたアンケート調査、回答データの分析を行ってきました。

その結果、子どものこころの状態を表すツールとして、VASに一定の効果があることがわかりました。

今後は、子ども一人ひとりに合ったケアを実現し、安心な学びの環境をつくるために、VASの効果に関する詳しい検証を進めていきます。

※VAS: Visual Analog Scale(医療的に体の状態を捉える視覚的なスケール)

【参考】令和6年度の実践

「横浜の挑戦! 新たな『教育データ』の創出」

https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/kyoiku/2024/ky20240911.files/0007_20240910.pdf

「子どものこころの変化をとらえ 安心な学びの環境をつくる『横浜モデル』が始動します」

https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/kyoiku/2024/1107labo.files/0006_20241107.pdf

令和7年度 第1回 横浜教育データサイエンス・ラボ



- 1 概要 開催日時：令和7年5月16日（金）15：00～16：45
会 場：Y-PORT センター公民連携オフィス 情報発信拠点 GALERIO
（横浜市西区みなとみらい一丁目1番1号 横浜国際協力センター6階）

2 参加者（予定）

横浜市立小・中・義務教育・高等・特別支援学校の教職員
横浜市立大学
モノグサ株式会社 ほか



3 次第（当日スケジュール）

14:50	写真撮影
15:00	（1）教育委員会挨拶
15:10	（2）パネルディスカッション「現時点で分かってきたこと・今後の研究について」 テーマ① 〈算数科、数学科〉学力と意欲の関係 「つまずき」は気づきのチャンス
15:50	<休憩>
15:55	テーマ② 〈横浜モデル〉子どものこころの変化をとらえ安心な学びの環境をつくる 教育×医療×ビッグデータの連携
16:35	（3）まとめ

4 取材について

当日取材を希望される場合は、5月15日（木）正午までに別添の「報道関係者取材申込書」をFAX又はE-mailでお送りください。なお、取材・撮影等にあたっては現地担当者の指示に従っていただきますようお願いいたします。14：50より登壇者による集合写真の撮影を行います。集合写真の撮影を希望される場合は、14：45までに会場にお越しください。

5 会場アクセス

Y-PORT センター公民連携オフィス 情報発信拠点 GALERIO

〒220-0012

横浜市西区みなとみらい一丁目1番1号

横浜国際協力センター6階

<https://yport.city.yokohama.lg.jp/>

- 桜木町駅（JR・市営地下鉄）から
徒歩10分
- みなとみらい駅（みなとみらい線）から
徒歩5分



お問合せ先

教育委員会事務局学校経営支援課教育イノベーション担当課長 加藤 智敏 Tel 045-671-3723

送付書不要

【送付先】 横浜市教育委員会事務局 学校経営支援課

F A X 045-671-3723

E-mail ky-keiei@city.yokohama.lg.jp

報道関係者 取材申込書

5月16日(金) 「横浜教育データサイエンス・ラボ」

① 報道機関名	
② 申込代表者名	
③ 取材人数(②の方も含む)	
④ 連絡先(携帯等)	
⑤ ムービーカメラの有無 (該当するものに○)	有 (台) ・ 無
⑥ スチールカメラの有無 (該当するものに○)	有 (台) ・ 無
⑧ 備考	

令和7年5月15日(木) 正午までに必要事項をご記入のうえ、お申込みください。